



日本イーストウエストセンター同友会 The Japan EWC Association

ニューズレター 創刊号

ご挨拶



馬場 房子

(亜細亜大学経営学部教授)

今度、「日本イーストウエストセンター同友会」の会長に選ばれました馬場房子(旧姓村島)という者でございます。私は、1963年から1965年の2年間、大学院の学生として、イーストウエストセンターにお世話になりました。1965年に帰国して、1966年の4月から亜細亜大学で、経営心理学を教えるはじめ、現在に至っております。帰国してまもなく、馬場昌雄(現在、日本大学経済学部教授、同じく経営心理学者)と逢い、結婚して、娘(由佳子)が生まれ、娘も20才(日本大学法学部2年生)になりました。幸い、主人と娘の理解により、大好きな研究を続けることができただけでなく、1981年から1982年にかけて1年間、ピッツバーグ大学経営大学院に客員研究者として、単身で行く機会も得ました。この時に、昔、イーストウエストセンターで学んだおかげで、語学にもあまり困らず、その上、適応上何の支障もなく、ピッツバーグに到着したその日から、研究生活をエンジョイすることができました。さらに、今年、韓国の釜山女子大学の助教授の曹明煥先生とテネシー州にある「コマーシャル・アピール」という日刊紙の論説委員であるアニタ・ハウク女史(フルブライト奨学資金で来日)から、ほぼ同時に、アカデミック・スポ

ンサーになってくれないかという御依頼があった時に、お引き受けしようと決心させたものは、主として、「イーストウエストセンタースピリット」であったように思います。そして、今度、「日本EWC同友会」会長という大役をお引き受けするかどうかの時も、やはり、「イーストウエストセンタースピリット」が決心させてくれたように思います。微力ながら、精一杯やってみようと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

私がイーストウエストセンターで学んだ頃は、いわゆるアメリカの「ゴールデン・エイジ」の真只中で、当時の日本の生活と比較すると、アメリカの生活は、見る物何でも珍らしいという感じでした。しかし、それから20年以上の歳月が流れて、アメリカと日本の状況は、すっかり変わったように思えます。幸い、私共、イーストウエストセンターにお世話になった日本人は、30年近い間に、長期および短期と合わせて約3,000人であると言われておりますので、力を合わせれば、何かができると思います。「何を」するかは、これから皆様と考えていきたいと思えます。すでに前会長の高沢義行氏によって、「日本EWC同友会」の基礎は作られてきておりますので、これからこの会がますます発展していけばよいと思えます。皆様のお力添えをいただければ幸いです。

1987年度総会報告

去る10月16日(18:30~20:30)、日本イーストウエストセンター同友会総会が東京・有楽町の外国人記者クラブ(電気ビル23階)において、遠くは福岡からも駆け参じた会員22名(委任状179名)の出席のもと成功裡にもたれました。

高沢義行会長の挨拶では、EWC 国際同窓会本部(ホノルル)に対する募金の成果が、全国多数の会員の協力を得て、目標の1万ドルに近かったこと、そして神保尚武担当幹事を中心とする名簿作成の作業が完了したことなどの事業報告がなされました。

当日の司会担当太田幸夫幹事は、つづいて国際同窓会理事千本倅生氏を紹介。同氏は本部が数年来すすめてきたコンピュータによる各国同窓生のネットワーク計画の概要を披露し、また来年6月(20日から24日まで)の5日間、インドネシアで開催されるバリ島会議の予定について発表しました。そのプログラムはワークショップとしてテーマあり、太平洋地域の「文化と技術の相互作用」「人的資源開発」「女性の役割」「自然資源の管理」「事業開発」それに「選挙とマスメディア」。それにビデオ・テレ会議やテーマを広げたディスカッション・セッションなどから構成されています。

高沢義行会長はこのバリ島会議に日本支部としても協力する意向を表明し、「30名くらいの参加をめざしている」と述べました。[バリ島8日間の旅]を東京本部ではすでに企画し、主催は近畿日本ツーリスト(株)(本社内海外旅行支店〒101 東京都千代田区神田松永町19-2 Tel. 03-255-7077 担当小林)で、事務一切を代行するという計画が実施に入っています。

副会長神保尚武氏は組織の現状についてコメントし、名簿の会員数600余名、各年度のまとめ役として20名余りの年度幹事が選ばれ、名簿作成に協力された旨報告されました。なお従来、東京・赤坂の山王ビルの日米教育委員会内に設

けられていたEWC 日本事務所が閉ざされ、日本支部の定例幹事会をもつ場所すらなくなっている現状についてもふれました。

鑑江龍一担当幹事の会計報告では、会費納入を郵便振替方式に一本化した結果支払い者が増加し、すでに190名が支払いを完了したとの報告。新年度の予算案も示され、出席者一同の拍手によって承認されました。

今回の総会に大阪より特別参列した高岡宏氏は、関西支部の結成とニューズレターの定期刊行などの支部活動がすでにはじまった現況について報告。今後東京にある本部との連携の必要性を強調しました。

今回総会の最重要議題ともいえる会長人事の交替では、これまで再三の留任によって日本支部を長期にわたって代表してきた高沢義行会長から、実業界の代表責任者としての忙殺を理由に硬い辞意が表明され、新会長に幹事会の意向もふまえて馬場房子さん(EWC ISI '63 亜細亜大学教授)を推薦し了承を得ました。

馬場房子新会長の挨拶は、その明るさが、今後の日本支部の発展を約束しているようで、高沢前会長の長年にわたる尽力に感謝して寄せられた万雷の拍手とともに、会場はおおいに盛り上がりました。

当日はあいにくの雨天にもかかわらず一堂に会した会員諸氏の顔ぶれは多彩で、最後の懇親に先立っておこなわれた自己紹介では、ひときわ女性群のスピーチが会場を魅了していたことを追記しておきます。

なおEWCにこれまで23年間勤めたDean Sumi Y. Makeyがこの12月で退職するというホットなニュースも披露されましたが、彼女との思い出を大切にしている会員も多いと思います。ホノルルの彼女にそうしたアルバムの一頁をどう示すか。どうぞご意見をお寄せください。

(文責太田幸夫)

会計報告

1987年10月16日現在

収入の部	前期(昭和61年11月30日現在)より繰り越し	¥220,273
	年会費(¥5,000×3)	¥15,000
	IAEWC 寄付金のrefund	¥223,500
	IAEWC 寄付金未送分(6人分)	¥70,000
	合計	¥528,773
支出の部	名簿作製(コピー)・郵送代(228人分)	¥314,105
	Cynthia Ai さんとの会合費補助	¥14,604
	事務通信費(ハガキ、切手等)	¥7,040
	総会通知・コピー代(¥20×750)	¥15,000
	総会通知郵送代(¥60×653、¥40×750)	¥69,180
	封筒代(¥42×500)	¥2,100
	合計	¥422,029
	収支合計	¥528,773 - ¥422,029 = ¥106,744

会計 鑑江龍一 ㊦

○収入の部については、昭和61年12月に名簿発送時に、会員名簿と同封して報告済みです。

※同上会計報告後、3名の会員から年会費の振り込みがありました。

○支出の部の内訳は以下の通りです。

※名簿の作製と発送(228人分—会費納入者及びIAEWC 寄付金納入者)

○コピー代@¥25×42 pages×217通	= ¥227,850
○アルバイト代(時給¥750×20時間)	= ¥15,000
○郵便代@¥240×216通	= ¥51,840

小計 = ¥294,690.....①

追加発送分

○コピー代@¥35×42 pages×11通	= ¥16,170
○製本代@¥20×11通	= ¥220
○郵送代@¥240×11通	= ¥2,640

小計 = ¥19,415.....②

合計(①+②) = ¥314,105

※事務通信費

○往復ハガキ(幹事会連絡用)@¥80×75通	= ¥6,000
○G. R. Ring, Pat Louis 宛速達	= ¥1,040

計 = ¥7,040

※総会通知郵送代

○通知郵送代@60×653通	= ¥39,180
○返信用ハガキ@40×750通	= ¥30,000

計 = ¥69,180

返信用ハガキの残余は幹事等の事務連絡用に使用の予定

日本イーストウエストセンター同友会監査報告書

昭和62年10月16日、総会に提出された会計報告を監査した結果、手続上妥当に処理されていることを認めます。

昭和62年10月16日

会計監査 高田宜美 ㊦

1988年度日本イーストウエストセンター同友会幹事

新会長の構想のもとに皆様の御協力を得て、次のように幹事会が結成されましたことをご報告します。

顧問	山下 勇 (EWC Board of Governor)	
	井手 生 (82)	
	高沢 義行 (71)	
会長	馬場 房子 (63)	亜細亜大学経営学部教授
副会長	神保 尚武 (69)	早稲田大学商学部教授
//	千本 伴生 (78)	第二電電株式会社専務取締役
担当幹事		
組織	永井 健 (61)	山陽国策パルプ(株)主席調査役
	大山 綱夫 (62)	恵泉女学園短期大学英文科教授
	西村 嘉太郎 (63)	福島大学教育学部教授
企画	田代 成義 (63)	鹿島建設国際事業本部専門部長
	太田 幸夫 (78)	グラフィック・デザイナー、多摩美術大学講師
	渡辺 晴子 (79)	H. K. W. ヴィデオワークショップ代表
渉外	石田 雅近 (84)	清泉女子大学文学部英文科助教授
	湊 和夫 (64)	お茶ノ水女子大学文教育学部教授
広報	三和 義彦 (80)	日本工業新聞編集局編集委員
	川畑 泰 (75)	ジャパン・タイムズ報道部次長
	梅田 純一 (82)	日本経済新聞社編集局国際第3部編集
	牧野 賢治 (83)	毎日新聞社編集委員
会計	鑑江 龍一 (73)	衆議院参事 (事務局渉外部渉外課)
ニューズレター	岡 久子 (65)	アップジョン ファーマシューティカルズ リミテッド勤務
	佐多 めぐみ (85)	1987年 EWC より帰国
事務局長	中村 正枝 (64)	東京大学先端科学技術研究センター勤務
事務局	服部 史郎 (84)	日本大学経済学部研究所事務課主任
会計監査	高田 宣美 (65)	国際医学情報センター課長

年度幹事

なお、各年度幹事は以下の方々にお願ひしました。新会員のご紹介、また、住所、職場の変更等がございましたら、年度幹事か神保尚武または中村正枝まで御通知をお願いします。

61 石 沢 能 子	69 神 保 尚 武	77 新 津 晃 一
62 富 田 光 彦	70 長谷川 洋 一	78 外 池 一 子
63 高 岡 宏	71 加 藤 多 恵 子	79 上 原 秀 樹
64 中 村 正 枝	72 石 塚 嘉 一	80 三 和 義 彦
65 岡 久 子	73 鑑 江 龍 一	82 梅 田 純 一
66 清 水 康 子	74 野 口 泰 生	83 牧 野 賢 治
67 野々垣 武 子	75 川 畑 泰	84 石 田 雅 近
68 仲 野 秀 志	76 山 下 道 子	85 佐 多 めぐみ

日本イーストウエストセンター同友会連絡先

〒180 東京都武蔵野市境5-24-10
 亜細亜大学 馬場研究室内
 日本イーストウエストセンター同友会

会費納入のお願い

会費の用途につきましては、別記報告されて居りますが、会員数に比して、納入者数が少ないためせいぜい総会通知を差しあげるくらいでなかなかその他の活動をする余裕がありません。幹事の時間の余裕が許すかぎり、今回のようなニューズレターをもっと頻繁に発行する為にも、又、現在'69神保さんを中心として幹事やその他の皆様のご協力によりワープロでうちこまれた名簿を印刷物とする為にも、是非会費納入にご協力頂きたくよろしくお願い申し上げます。会費は¥5,000で年間を通して受け付けております。

尚、1987年12月31日現在の納入者数は197名で、合計金額99万円となっています。(うち1名は1万円の払込み)

会費払込先 (郵便局口座) :

東京 5-13497

東京都武蔵野市境5-24-10

亜細亜大学馬場研究室内

日本イーストウエストセンター同友会

EWCA の Fund Raising Drive に関して

いままでも度々ハワイの EWCA から寄付の要請が届いていると思いますが、手続が面倒で費用もかかることから、郵便局に下記の口座を開きました。今後、ご利用下されば、まとまった時点で同友会が一括して送金させていただきます。

東京 6-352735

東京都武蔵野市境5-24-10

亜細亜大学馬場研究室内

日本イーストウエストセンター同友会()

バリ島会議への参加のお勧め

総会報告の中でもふれられておりますが、バリ島会議には、アジア最大の経済大国である日本から多数の参加を、と期待が寄せられております。ハワイのイーストウエストセンターの理事でもあり、日本イーストウエストセンター同友会の顧問でもある山下勇氏が今回の keynote speaker となっておりますので是非積極的にご参加下さい。

問合せ・申込み先:

近畿日本ツーリスト(株)

(本社内海外旅行支店)

〒101 東京都千代田区神田松永町19-2

電話 03-255-7077

担当 小林

セミナー開催のお知らせ

日本イーストウエストセンター同友会は会員の親睦を深めて行きたいと考えています。初めての試みとして下記の通りセミナーを開催致します。多数の方々のご参加を期待しております。

演題 「海外から見た日本」

演者 カナダ・プリティッシュコロンビア大学
 経済学部教授

筑波大学客員教授

永谷敬三博士 (EWC 62~64)

日時 1988年3月18日(金)午後6時より

会場 日本大学経済学部5号館会議室

JR線:水道橋下車

地下鉄:都営三田線水道橋下車

参加ご希望の方は、前もって下記にご連絡下さるようお願い致します。

馬場房子 〒177 練馬区西大泉3-20-14

電話 03-922-3561

中村正枝 〒227 横浜市緑区元石川町6729-26

電話 045-902-1170

顧問紹介



山下 勇氏
(明治44年2月15日生)

〈学歴〉

昭和8年 東京帝国大学工学部機械工学科卒業

〈職歴〉

昭和8年 三井物産株式会社造船部入社
昭和12年 三井物産株式会社造船部分離独立株式会社玉造船所設立により引続き同社に入社
昭和17年 株式会社玉造船所を三井造船株式会社と社名変更
昭和30年 三井造船株式会社取締役役に就任
昭和45年 同社代表取締役社長に就任
昭和54年 同社代表取締役会長に就任
昭和60年 同社相談役に就任現在に至る
昭和62年 東日本旅客鉄道株式会社会長に就任現在に至る

〈民間団体歴〉
昭和52年 海洋科学技術センター会長 (現職)
昭和55年 (社)経済団体連合会副会長
昭和58年 日米諮問委員会委員
昭和60年 貿易センター理事長 (現職)
昭和60年 日米欧委員会日本委員長 (現職)
昭和61年 (社)経済団体連合会評議員会議長 (現職)
昭和62年 (財)日本規格協会会長 (現職)
現在 EWC 理事

〈公職歴〉

昭和55年 科学技術庁議員 (現職)
昭和56年 運輸省運輸技術審議会特別委員 (現職)
昭和56年 通商産業省産業構造審議会特別委員 (現職)
昭和60年 通商産業省工業技術院日本工業標準調査会
情報技術標準化特別委員会会長 (現職)
昭和60年 郵政省電気通信審議会会長 (現職)
昭和60年 資源エネルギー庁総合エネルギー調査会委員 (原子力部会部会長) (現職)
昭和62年 科学技術庁宇宙開発委員会専門委員 (長期政策部会部会長) (現職)

〈賞罰〉

昭和42年 デンマーク王国ダンネプログ勲章を受章
昭和46年 藍綬褒章を受章
昭和51年 デンマーク王国ダンネプログコマンドー勲章を受章
昭和58年 勲一等瑞宝章を受章
昭和58年 ノルウェー国聖オーラフ勲章コマンドーを受章
昭和61年 ドイツ連邦共和国コマンドークロス勲章を受章



井出 生氏
(昭和2年1月1日生)

〈学歴〉

昭和23年 日本大学経済学部卒業
昭和49年 経済学博士号取得

〈職歴〉

昭和23年 日本大学経済学部助手
昭和24年 日本大学専門部専任講師
昭和26年 日本大学経済学部専任講師
昭和27年 日本大学短期大学部助教授
昭和29年 日本大学経済学部助教授
昭和34年 日本大学経済学部教授 (現在)

〈主要学内役職歴〉

昭和49年 経済学部学監 (至51年)
昭和51年 学務部長 (至52年)
昭和52年 経済学部次長 (至54年)
昭和52年 学務部長臨時代理 (至53年)
昭和54年 経済学部長 (現在)
昭和54年 大学院経済学研究科長 (現在)
昭和54年 学校法人日本大学理事 (現在)
昭和54年 人口研究所長 (至57年)
昭和54年 通信教育部長 (至57年)
昭和57年 副総長 (至59年)
昭和59年 付属高等学校検討委員会委員長 (至61年)
昭和59年 企画委員会委員長 (現在)

〈所属学会〉

日本経済政策学会理事 社会政策学会
日本地方自治研究会理事 経済社会学会
日本不動産学会評議員 経済学史学会
理論・計量経済学会



高沢 義行氏
(昭和8年1月3日生)

〈Education〉

Hitotsubashi University, Tokyo
B. A. in Commerce (1956)

〈Business Career〉

1956 Joined C. ITOH & CO., LTD., Tokyo
1958 Appointed Chief Representative, C. Itoh & Co., Ltd., Madras India Branch
1959 Bombay Branch, India
1960 Tokyo office, Assistant Manager of Iron & Raw Material Dept.
1962 Appointed C. Itoh & Co. Manager
) Vancouver BC, Canada Branch
1969 Established several joint ventures and became Directors
New Imperial Mines
CIPA Sawmills
Matsuda Canada
1970 Returned Tokyo
Chief of Oil & Gas Section
Developed LNG project in Iran
LPG project in Canada
1973 Chief deligate of Svenska Handels Banken, Tokyo
1975 President Nordic Japan Co., Ltd.
〈Societies〉
1968 Chairman of the Japanese Businessmen's Association of Western Canada.
1986 President of East West Center (Hawaii) Alumni Association in Japan

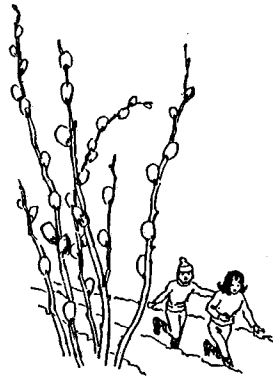
日本イーストウエストセンター同友会名簿

住所・勤務先などの変更は下記にご連絡下さい

神保尚武

〒370-23 富岡市七日市1105-5

電話：0274-62-0376



編集後記

何回となく幹事会の開催通知をいただきながら、仕事が忙しいこともあって、同友会活動に消極的で毎回欠席しておりました。実は幹事であることの認識もなかったほどでした。昨年の秋、ふと、はじめて出席しました会合で、皆様が多忙であるにも拘らず同友会のために時間とサービスを提供なさっていることを知り、ひどく反省させられました。新会長の熱意ある姿勢と事務局長を始めとする幹事の方々のご努力に心うたれ、微力ながら私もお手伝いさせていただくことになりました。稚拙な点が数々あると思います。皆様のご指導をいただきたくお願い致します。(H. O.)

ニューズレター 創刊号

編集発行 日本イーストウエストセンター同友会

発行責任者 馬場 房子

〒180 東京都武蔵野市境5-24-10

亜細亜大学馬場研究室内

電話 0422-54-3111

タナカ印刷株式会社